

# 文化部会 I (伝統文化系)

伝統文化のさらなる継承を！！

各部会「多彩な交流活動の拡大」の特集は、文化部会 I (会長：重松豊彦・国9) の11グループです。ぎやらりーわ編集部は12月19日定例ミーティングにお邪魔して部会の活動状況や今後の目標についてお聞きしました。それぞれのグループの今後の活動・方向と課題・最近頑張っていること・活動を始めようとしている若い人達に贈りたいメッセージ等について、コメントをいただきました。非常に活発で様々な活動が紹介されています。(編集・八木)



## 文化部会 I (伝統文化系) の組織と活動

### 11グループが連携して活動推進

- 1) 書道部：会員65名で構成  
活動内容：書道展 (11月頃) 市内施設ボランティア
- 2) KSCマジッククラブ：会員75名で構成  
活動内容：ボランティア活動年間70～80回、高齢者施設、障害者施設、幼稚園、病院、地域イベント等
- 3) 朗読・あかりの会：会員12名で構成  
活動内容：朗読録音、CD作成し障害者の方に配布、施設に紙芝居等の慰問、小中学生対象のガイドヘルプ等
- 4) 人形劇 ほたる座：会員9名で構成  
活動内容：高齢者施設等で童話、民話を題材にした人形劇を出張公演
- 5) むかしあそび研究会：会員199名で構成  
活動内容：学校・地域等で、種々の伝統的な玩具で子供達と共に遊び、領域を広め、楽しさを体験させる
- 6) うらしまたろう：会員12名で構成  
活動内容：福祉施設友愛訪問は演芸南京玉すだれを幹にメンバーの持ち芸をプラスし、公益団体の子供向けイベントの運営支援でバルーンアート、皿回し
- 7) おはなし糸車：会員15名で構成  
活動内容：朗読・絵本の読み聞かせ、紙芝居などを通じて子供や高齢者との交流をしている
- 8) 折り紙グループ悠々：会員11名で構成  
活動内容：折り紙で福祉施設や幼稚園を友愛訪問
- 9) わらい届け隊：会員19名で構成  
活動内容：ちんどん屋・腹話術・マジック・歌と踊りなどで、地域社会に笑いと元気を届ける
- 10) 石わ会：会員9名で構成  
活動内容：介護施設・老人保健施設等に行き、入所者と囲碁を通じてコミュニケーションを図り、健康で長生き及び認知症防止のためのお手伝いをする
- 11) KSC茶道部同好会：会員10名で構成  
活動内容：福祉施設・保育園・幼稚園・学校等に心を込めてお茶をたて、伝統文化である茶の湯の心を伝える

## “いろいろな機会を通じ 伝承活動を継続していく”

文化部会には25のクラブがあります。伝統文化系が11グループ、音楽系が14クラブです。

日本の暮らしの中の伝統文化を、いろいろな機会を通じて伝える伝承活動を続けています。

また歌や踊り、楽器の演奏などで見て、聞いて、楽しんでいただけるように施設やイベントなどで幅広い活動に取り組んでいます。今回は伝統文化系の11グループの紹介をいたします。

(部会長 重松豊彦)

### 1) 書道部の取組と課題

代表：友原 誠

書道部は「日本書芸心龍会」に所属し、神戸支部として優秀な成績を挙げています。

初心者には基礎から、更に上達を望む人には師範格のOB講師が、親切丁寧に指導に当たっています。部員は在校生・OB合わせて約70名で月に3回研修館に集い、漢字・かな・細字・硬筆 など色々自分の好きな書に取り組んでいます。先の学園祭では、在校



生が56×400cmの舞台看板(一文字)を太筆で力強く仕上げ注目を集めるとともに、皆で協力して創りあげる苦勞と楽しさを味わいま

した。また、介護老人施設や児童館等でボランティア活動もしています。29年度には19施設で延べ3,806名の方々へお手伝いや指導をしました。より多くの人と書の楽しさを共感出来たら…と頑張っています。